

## 第7回自然災害リスク管理に関する JFES・JSCE・AIJ・WFEO ジョイント国際シンポジウムの報告

去る9月5日の平成25年度土木学会全国大会（日本大学、千葉県習志野市）開催中に、災害リスク管理に関するジョイント国際シンポジウムが開催されました。土木学会・日本建築学会・日本工学会・世界工学団体連盟(WFEO)が共催、日本学術会議の協賛にて、4カ国（日本、イラン、台湾、フィリピン）から防災・減災に関わる8名の研究者を講師に招き、土木工学・建築工学・財政政策・法的政策の視点より国内外の災害リスク管理について講演して頂きました。その後、参加者（約50名）を交え有益な意見交換を行いました。

詳細な内容について、開会挨拶では災害による莫大な経済損失を防ぐために災害マネジメントの重要性が強調され（WFEO-CDRM 石井委員長）、講師陣からの、ゲリラ豪雨の予測手法の開発（中央大 - 山田教授）、台湾の歴史的台風被害の教訓（成功大 - Dr. Lai）、大地震における高層ビル等の耐震テスト（京都大 - 中島教授）、東日本大震災後の地域復興過程の理想と現実のギャップ（東北大 - 姥浦准教授）、地域や国家間を超えて発生する災害の取り扱い方（テヘラン工科大 - Dr. Ali）、経済損失を考慮した災害脆弱性の空間的なマッピング（東北大 - 風間教授）、世界政策的枠組みに利用する減災の投資モデルの開発（JICA-竹谷専門員）、減災と災害リスク管理に関するフィリピンの法律制定に関する知見（フィリピン大ディリマン校 - Pacheco 教授）を各々聴講しました。それに続く質疑応答では、防災に対しての土木工学からと建築工学からの視点の相違や東北復興の現状について政府の対応の問題点等について議論がありました。最後に、防災対策の重要性を再確認（九州大 - 小松特命教授）して閉会しました。



シンポジウム講演風景

本シンポジウムは、複数の学術・工学団体が共同開催したもので、防災に関して多面的な物の見方・考え方を提供しています。今後も継続され、来年度は日本建築学会神戸大会で行われる予定です。

（注：WFEO とは1国1会員制で、工学を通して世界経済の安定・社会発展を目指す世界的な NGO です。CDRM は WFEO 下部組織の災害リスク管理に関する委員会です。）



シンポジウム終了後の記念撮影

※シンポジウムのプログラムのダウンロードは[こちら](#)>>>



【記：世界工学団体連盟 災害リスク管理委員会事務局幹事補 木村延明】